



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月11日

上場会社名 川田テクノロジー株式会社 上場取引所 東
コード番号 3443 URL <https://www.kawada.jp/>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）川田 忠裕
問合せ先責任者 （役職名）常務取締役 （氏名）渡邊 敏 TEL 03-3915-7722
半期報告書提出予定日 2025年11月12日 配当支払開始予定日 2025年12月5日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	55,346	△16.7	3,172	△33.9	3,958	△38.6	3,142	△37.4
2025年3月期中間期	66,430	3.3	4,801	55.0	6,443	74.4	5,017	93.4

（注）包括利益 2026年3月期中間期 3,014百万円（△45.2％） 2025年3月期中間期 5,498百万円（65.3％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	180.53	—
2025年3月期中間期	290.82	290.08

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	162,503	93,055	57.0
2025年3月期	165,511	91,569	55.0

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 92,555百万円 2025年3月期 91,062百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	45.00	—	100.00	145.00
2026年3月期	—	65.00			
2026年3月期（予想）			—	65.00	130.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	115,000	△13.5	7,800	△19.5	9,600	△23.9	7,500	△32.5	430.05

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (中間期)

2026年3月期中間期	17,474,210株	2025年3月期	17,474,210株
2026年3月期中間期	34,191株	2025年3月期	89,873株
2026年3月期中間期	17,405,037株	2025年3月期中間期	17,251,406株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・当社は機関投資家・アナリスト向け決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明資料及び決算説明会の動画につきましては、当社ウェブサイト公開する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(セグメント情報等の注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
3. 補足情報	12
受注、販売及び繰越高の状況	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当社グループの当中間連結会計期間における業績は、売上高55,346百万円（前年同期比16.7%減）、営業利益3,172百万円（同33.9%減）、経常利益3,958百万円（同38.6%減）、親会社株主に帰属する中間純利益は3,142百万円（同37.4%減）となりました。受注高につきましては58,362百万円（同22.3%増）となりました。

なお、セグメントの業績は次のとおりであります。（セグメントの業績については、セグメント間の内部売上高等を含めて記載しています。）

(鉄構セグメント)

鉄構セグメントの中の鋼製橋梁事業につきましては、受注高は当中間連結会計期間においても新設橋梁の発注が低調に推移する中、高速道路会社からの大規模更新工事を受注することができたことで、前年同中間期を上回る結果となりました。売上高につきましては豊富な繰越高を抱えつつも、本格稼働までに至っていない工事や遅延している工事が散見されることに加え、工場での製作も低調に推移したことから前年同中間期を下回りました。一方で損益面におきましては、完成を迎える複数の大型工事において設計変更を獲得できたことにより、前年同中間期を大きく上回る結果となりました。

鉄骨事業につきましては、受注高は第1四半期連結会計期間に引き続き大型物件の交渉が順調に進み、受注を積み上げることができたことにより前年同中間期を大幅に上回りました。売上高は、首都圏、関西地区ともプロジェクトの進捗が低調に推移したことで前年同中間期を大きく下回り、損益面においても当中間期に設計変更を獲得できた工事があったものの、売上ボリュームの減少をカバーするまでには至らず前年同中間期を下回りました。

セグメント全体では売上高24,158百万円（前年同期比23.5%減）、営業利益2,975百万円（同10.4%増）となりました。また、受注高は29,070百万円（同101.3%増）と前年同中間期を大幅に上回る結果となりました。

(土木セグメント)

土木セグメントにつきましては、受注高は当第2四半期連結会計期間において高速道路会社からの更新事業を受注することができたものの、前年同中間期は新設事業の受注と設計変更の計上があった反動で13,110百万円（前年同期比32.6%減）と前年同中間期を下回る結果となりました。売上高は、前連結会計年度からの豊富な繰越高を抱えてスタートできたものの、新設事業、保全事業での進捗が伸び悩んだことで15,863百万円（同24.3%減）と前年同中間期を下回りました。また損益面につきましても、売上高の減少に加え、当中間連結会計期間に設計変更の獲得までには至らず、結果として原価が先行している工事があったことで営業利益48百万円（同97.3%減）と前年同中間期を大幅に下回りました。

(建築セグメント)

建築セグメントにつきましては、受注高は設計契約を締結し、設計を進めていた大型システム建築案件において、工事部分の契約ができたことで7,451百万円（前年同期比39.7%増）と前年同中間期を大幅に上回る結果となりました。売上高は第1四半期連結会計期間に引き続き大型工事の進捗が堅調に推移したことで8,525百万円（同29.0%増）となりました。損益面につきましては、売上高の増加に加え、採算性が高い工事の進捗が伸びたことや原価改善が図れた工事があったことにより営業利益598百万円（同52.2%増）と前年同中間期を大幅に上回りました。

(ソリューションセグメント)

ソリューションセグメントにつきましては、受注高は前連結会計年度に引き続き、ソフトウェア販売事業を中心に好調に推移したことで3,872百万円（前年同期比3.7%増）となりました。売上高は前連結会計年度からの繰越高の増加と当中間連結会計期間での受注増加を受け、自社製品を中心に順調に伸ばすことができたことで3,666百万円（同0.6%増）となりました。損益面につきましては売上高の増加を受け、売上総利益は増加したものの、テレビCM等の広告宣伝費が膨らみ、販売費及び一般管理費が増加したことで営業利益は1,411百万円（同2.1%減）と減少いたしました。

(その他)

その他につきましては、売上高は航空機使用事業で伸ばすことができたものの、橋梁付属物の販売が減少し4,468百万円（前年同期比2.2%減）と前年同中間期を下回りました。損益面は、航空機使用事業でのコスト増加などにより営業損失は220百万円（前年同期は営業損失87百万円）となりました。なお、当該損失につきましては、営業外収益の「補助金収入」によりカバーされています。

(2) 当中間期の財政状態の概況

① 資産、負債、純資産の状況

当中間連結会計期間末における「資産の部」は162,503百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,008百万円(△1.8%)減少しました。これは主に、現金預金が4,510百万円、流動資産のその他(未収入金)が1,016百万円、それぞれ増加し、受取手形・完成工事未収入金等が9,179百万円減少したことによるものであります。

また、「負債の部」は69,448百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,494百万円(△6.1%)減少しました。これは主に、未成工事受入金が1,751百万円、短期借入金が1,155百万円、それぞれ増加し、流動負債のその他(未払消費税等)が4,854百万円、支払手形・工事未払金等が3,025百万円、それぞれ減少したことによるものであります。

一方、「純資産の部」は93,055百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,486百万円(+1.6%)増加しました。これは主に、親会社株主に帰属する中間純利益の計上により利益剰余金が1,403百万円増加したことによるものであります。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の55.0%から57.0%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末に比べ、4,509百万円増加し18,788百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、4,061百万円の資金増加(前中間連結会計期間は5,038百万円の資金減少)となりました。これは主に、売上債権の回収等による資金の増加があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、39百万円の資金減少(前中間連結会計期間は1,197百万円の資金減少)となりました。これは主に、有形固定資産の取得等による資金の減少があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、489百万円の資金増加(前中間連結会計期間は4,781百万円の資金増加)となりました。これは主に、借入金の増加等による資金の増加があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の通期連結業績予想につきましては、当中間連結会計期間における実績及び最近の業績動向を踏まえ、前回発表(2025年5月13日)の通期連結業績予想を下回る見込みでありますので、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり修正させていただきます。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	14,363	18,874
受取手形・完成工事未収入金等	68,169	58,989
未成工事支出金	126	130
その他の棚卸資産	1,406	1,761
その他	3,181	4,764
貸倒引当金	△6	△5
流動資産合計	87,241	84,514
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	5,893	5,877
機械・運搬具及び工具器具備品(純額)	2,973	2,908
航空機(純額)	1,379	1,488
土地	14,953	14,953
リース資産(純額)	2,131	1,997
建設仮勘定	45	40
有形固定資産合計	27,375	27,265
無形固定資産	1,236	1,230
投資その他の資産		
投資有価証券	4,074	3,981
関係会社株式	40,757	40,328
繰延税金資産	3,955	4,069
その他	885	1,128
貸倒引当金	△15	△15
投資その他の資産合計	49,657	49,492
固定資産合計	78,269	77,989
資産合計	165,511	162,503

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	17,838	14,812
短期借入金	6,345	7,500
1年内返済予定の長期借入金	4,281	4,749
1年内償還予定の社債	1,085	1,150
リース債務	452	467
未払法人税等	1,700	1,469
未成工事受入金	7,403	9,154
前受収益	2,513	2,312
賞与引当金	2,405	2,248
完成工事補償引当金	66	50
工事損失引当金	2,908	3,661
その他	9,700	3,786
流動負債合計	56,700	51,363
固定負債		
社債	2,065	2,120
長期借入金	9,552	10,476
リース債務	1,917	1,758
繰延税金負債	—	19
再評価に係る繰延税金負債	1,516	1,516
役員退職慰労引当金	663	669
退職給付に係る負債	1,320	1,337
資産除去債務	133	133
負ののれん	34	25
その他	37	27
固定負債合計	17,241	18,084
負債合計	73,942	69,448
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,374	5,374
資本剰余金	9,922	10,032
利益剰余金	69,665	71,068
自己株式	△169	△64
株主資本合計	84,793	86,411
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,561	2,649
土地再評価差額金	928	925
為替換算調整勘定	1,962	1,807
退職給付に係る調整累計額	817	761
その他の包括利益累計額合計	6,269	6,143
非支配株主持分	506	499
純資産合計	91,569	93,055
負債純資産合計	165,511	162,503

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	66,430	55,346
売上原価	55,848	46,017
売上総利益	10,581	9,328
販売費及び一般管理費	5,780	6,156
営業利益	4,801	3,172
営業外収益		
受取利息及び配当金	116	93
受取賃貸料	79	81
負ののれん償却額	10	10
持分法による投資利益	1,605	661
補助金収入	336	325
その他	33	121
営業外収益合計	2,181	1,294
営業外費用		
支払利息	191	180
賃貸費用	259	252
その他	88	75
営業外費用合計	539	508
経常利益	6,443	3,958
特別利益		
関係会社株式売却益	50	-
投資有価証券売却益	-	375
特別利益合計	50	375
税金等調整前中間純利益	6,493	4,334
法人税、住民税及び事業税	1,301	1,265
法人税等調整額	136	△72
法人税等合計	1,437	1,193
中間純利益	5,055	3,140
非支配株主に帰属する中間純利益又は非支配株主に 帰属する中間純損失(△)	38	△1
親会社株主に帰属する中間純利益	5,017	3,142

(中間連結包括利益計算書)

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	5,055	3,140
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△124	12
退職給付に係る調整額	△44	△31
持分法適用会社に対する持分相当額	612	△106
その他の包括利益合計	443	△125
中間包括利益	5,498	3,014
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	5,460	3,016
非支配株主に係る中間包括利益	38	△1

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	6,493	4,334
減価償却費	1,489	1,481
負ののれん償却額	△9	△9
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1	△0
賞与引当金の増減額(△は減少)	△52	△157
完成工事補償引当金の増減額(△は減少)	△7	△15
工事損失引当金の増減額(△は減少)	△197	752
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	22	6
その他の引当金の増減額(△は減少)	△0	△1
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△84	△29
受取利息及び受取配当金	△116	△93
支払利息	191	180
持分法による投資損益(△は益)	△1,605	△661
投資有価証券売却損益(△は益)	△5	△375
固定資産売却損益(△は益)	△1	△17
固定資産除却損	2	19
補助金収入	△420	△416
売上債権の増減額(△は増加)	△3,139	9,179
未成工事支出金の増減額(△は増加)	△161	△3
棚卸資産の増減額(△は増加)	△295	△354
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,231	△3,025
未成工事受入金の増減額(△は減少)	△1,265	1,751
その他	△1,232	△7,526
小計	△2,624	5,015
保険金の受取額	2	20
補助金の受取額	688	522
法人税等の支払額	△3,106	△1,497
営業活動によるキャッシュ・フロー	△5,038	4,061
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△10	△10
定期預金の払戻による収入	12	10
有形固定資産の取得による支出	△1,340	△1,114
有形固定資産の売却による収入	13	32
無形固定資産の取得による支出	△236	△278
投資有価証券の取得による支出	△253	△2
投資有価証券の売却による収入	5	480
貸付金の回収による収入	20	50
利息及び配当金の受取額	544	1,070
その他	47	△277
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,197	△39

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	6,500	1,155
長期借入れによる収入	3,740	3,700
長期借入金の返済による支出	△2,327	△2,307
社債の発行による収入	989	692
社債の償還による支出	△480	△580
利息の支払額	△201	△178
リース債務の返済による支出	△285	△235
配当金の支払額	△2,237	△1,730
その他	△916	△26
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,781	489
現金及び現金同等物に係る換算差額	△28	△2
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,482	4,509
現金及び現金同等物の期首残高	16,102	14,279
現金及び現金同等物の中間期末残高	14,619	18,788

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	鉄構	土木	建築	ソリューション	計		
売上高							
一時点で移転される財	79	23	44	358	505	2,620	3,125
一定の期間にわたり移転される財	30,970	20,758	6,563	3,146	61,438	1,778	63,217
顧客との契約から生じる収益	31,049	20,782	6,607	3,505	61,944	4,398	66,343
その他の収益	15	14	—	—	29	57	87
外部顧客への売上高	31,064	20,797	6,607	3,505	61,974	4,455	66,430
セグメント間の内部売上高 又は振替高	533	155	2	137	828	110	939
計	31,597	20,952	6,610	3,643	62,803	4,566	67,369
セグメント利益又は損失(△)	2,695	1,828	393	1,440	6,357	△87	6,269

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、航空、不動産売買・賃貸に関する事業等を含んでいます。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	6,357
「その他」の区分の損失(△)	△87
セグメント間取引消去	△188
全社費用(注)	△1,606
その他の調整額	327
中間連結損益計算書の営業利益	4,801

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	鉄構	土木	建築	ソリューション	計		
売上高							
一時点で移転される財	62	11	32	347	453	2,466	2,920
一定の期間にわたり移転される財	23,200	15,688	8,383	3,232	50,505	1,832	52,337
顧客との契約から生じる収益	23,262	15,700	8,416	3,580	50,959	4,298	55,258
その他の収益	15	9	—	—	24	63	88
外部顧客への売上高	23,277	15,709	8,416	3,580	50,983	4,362	55,346
セグメント間の内部売上高又は振替高	880	154	109	86	1,230	105	1,336
計	24,158	15,863	8,525	3,666	52,214	4,468	56,682
セグメント利益又は損失(△)	2,975	48	598	1,411	5,033	△220	4,812

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、航空、不動産売買・賃貸に関する事業等を含んでいます。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	5,033
「その他」の区分の損失(△)	△220
セグメント間取引消去	△207
全社費用(注)	△1,758
その他の調整額	325
中間連結損益計算書の営業利益	3,172

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)
該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。

3. 補足情報

受注、販売及び繰越高の状況

(1) 受注高

(単位: 百万円、%)

セグメントの名称	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)		当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)		増 減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
鉄構	14,443	30.3	29,070	49.8	14,627	101.3
土木	19,454	40.8	13,110	22.5	△6,343	△32.6
建築	5,332	11.2	7,451	12.8	2,118	39.7
ソリューション	3,733	7.8	3,872	6.6	139	3.7
その他	4,747	9.9	4,857	8.3	110	2.3
合計	47,710	100.0	58,362	100.0	10,651	22.3

(2) 販売高

(単位: 百万円、%)

セグメントの名称	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)		当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)		増 減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
鉄構	31,597	46.9	24,158	42.6	△7,439	△23.5
土木	20,952	31.1	15,863	28.0	△5,088	△24.3
建築	6,610	9.8	8,525	15.0	1,915	29.0
ソリューション	3,643	5.4	3,666	6.5	23	0.6
その他	4,566	6.8	4,468	7.9	△98	△2.2
合計	67,369	100.0	56,682	100.0	△10,687	△15.9

(3) 次期繰越高

(単位: 百万円、%)

セグメントの名称	前中間連結会計期間末 (2024年9月30日)		当中間連結会計期間末 (2025年9月30日)		増 減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
鉄構	70,408	52.1	100,285	59.1	29,877	42.4
土木	43,686	32.3	47,947	28.3	4,260	9.8
建築	16,584	12.3	16,713	9.9	128	0.8
ソリューション	3,588	2.7	3,809	2.2	220	6.1
その他	803	0.6	842	0.5	38	4.8
合計	135,071	100.0	169,597	100.0	34,525	25.6

(注) セグメント間の取引については、相殺消去していません。